

1 国語に関する調査

【特長】

- 表現を工夫して、自分の考えが伝わる文章を書く問題の正答率が他の問題に比べて高い。関連する言葉を書き出すという書く前の準備や、表現技法を使った練習などの指導を計画的に行った成果だと考えられる。
- 本文に書かれていることを理解し、必要な情報に着目して要約することができている。

【課題】

- 行書の特徴を理解することに課題が見られる。行書の基礎的な書き方を理解し、身近な文字を行書で書く練習を取り入れるなど、日常生活に生かすことができるようにしていく。
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することについてやや課題が見られる。文章の構成を押さえ、どの部分とどの部分が関連するかを確認するなどして、内容をより正確に読み取る学習にさらに取り組む必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉え、計算するような問題の正答率が高く、正の数・負の数の計算方法を正しく理解している。
- 一次関数における、グラフとy軸との交点に関する問題の正答率が高く、グラフから、切片や傾きを正確に捉えることができている。

【課題】

- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することについて課題がある。事象を数学的に捉えることができるよう、数学的活動を重視し、自分の考えを説明するような問題に取り組むことが必要である。
- 証明問題などに対し、筋道を立てて、証明することに課題がある。数学用語を活用し、論理的に証明を進めるような指導が、必要である。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになると回答している生徒の割合が高い。気持ちを支えている要素である学力や学習環境、家庭環境、地域とのつながりなど、多面的に環境を充実させた。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答している生徒の割合が高い。各教科でも自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫している成果だと考えられる。

【課題】

- 将来の夢や目標をもっていると回答している生徒の割合が低い。社会における自らの役割や将来の生き方・働き方について考えるとともに、目標を立てて計画的に取り組む態度の育成について、体験を通じて理解を深めていく。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていると回答している割合が低い。自分の生活習慣を振り返り、なぜ問題なのか正しく理解し、生活習慣づくりに自ら取り組むことができるよう、健康教育の充実を図る。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 文章を読むことを通して語彙を豊かにし、考えを深めたり生徒の表現の幅を広げたりできるような授業づくりに取り組んでいく。
- 物事を深く考え、表現力を身に付けるために、生徒と教師、双方向のコミュニケーションを大切に授業づくりに取り組んでいく。
- 文脈に応じて理解した文法事項を正しく活用したり、活用することを通して文法事項を理解したりする授業づくりに取り組んでいく。
- 将来に向け、明るい夢と希望を抱く生徒を育成するために、三年間を見通し、生徒の個性や適正を伸ばす進路指導のあり方について研究していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 学校目標「活気あふれる温かい学校づくり」の土台には、十分な睡眠、調和のとれた食事など規則正しい生活習慣があつてこそと捉えています。ご家庭のご協力を宜しくお願いします。
- 携帯電話やスマートフォンを利用するにあたり、ルールやマナーについて、引き続き、ご家庭でもご指導をお願いいたします。
- 地域活動が再開し、ボランティア活動にも主体的に取り組む機会が増えてきています。地域の方々との関わりの中で社会性などを育てたいと願っています。地域の一員として成長できるよう、見守りをお願いいたします。